(別紙) 【古賀市図書館協議会委員からいただいたご意見(抜粋)】

《ご意見①》

雑誌・新聞予算について。新聞数が減り、雑誌の発行終了も増えているのに令和3年度予算が上がっているのは、雑誌・新聞代金が値上りしたのでしょうか。

《事務局からの回答・対応等》

- 新聞、雑誌の価格は年々値上がりしています。
- 令和2年度は、コロナ禍の影響を受け雑誌の発行が抑えられていたため、受入数が例年より減少しました。それにより決算額が例年より低くなっています。そのため、比較すると令和3年度予算が高く見える結果となっています。

《ご意見②》

蔵書数が減少しているのは古い本を除籍したからですか。児童書は4,000冊減少しています。新しい本を購入して補うのですか。除籍本は、購入からの経年数で決定するのですか。

《事務局からの回答・対応等》

- 一律の経年数ではなく、「古賀市立図書館資料の除籍に関する規程」に基づいて、資料としての価値を失ったもの、痛みがひどく修理ができないもの等を、毎年適切に除籍しています。
- 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館期間を利用して、例年よりも特にきめ細かな除籍本の選定を行うことができました。その際、児童書は、複本があるものについては利用状況に応じた冊数の見直しも行いました。
- 除籍本についてはブックリサイクルとして有効活用。公共施設や地域文庫等を中心に内覧会を先行実施し、その後、市民のみなさんへ広く公開しお持ち帰りいただいています。
- 読み継がれている本については、傷んだ場合は新たなものへの差替えを行っています。

《ご意見③》

読書活動に関する行事も、中止にするだけでなく、オンラインでの開催も含めて検討していただき、様々な可能性を探っていただきたいと思います。

《事務局からの回答・対応等》

- おはなし会については、読み手であるボランティアの方々も生の声での読み聞かせ

を重要視されていることから、オンライン開催には不向きかと考えます。

※〈参考資料（日本書籍出版協会HPより）〉

「オンラインや有線放送をともなう読み聞かせについては、基本的には著作権者の許諾が必要になりますので、実施をご検討されている場合は、読み聞かせをされたい作品を出している出版社にまずはお尋ねいただくという形になります。

許諾を得ずに読み聞かせができるケースにつきましては、非営利・無償（実費程度も無償に入る）となるのですが、このケースには、有線放送やインターネットでの配信は該当せず、許諾が必要となります。（後略）」

○講座については、講座講師の方とのご相談も含めて、今後可能なものについては実施を検討したいと考えます。

《ご意見④》

めくるだけでも癒され、楽しくなる本の紹介など、大人に向けた絵本の働きかけはどうでしょうか。

《事務局からの回答・対応等》

○おっしゃるとおり、絵本には大人になって読んでみることで、子供の頃とは違う気持ちや感動を味わえるもの、美しい挿絵などで心癒されるものが多くあります。今後は、月ごとに実施している企画展示の中で紹介を検討したいと思います。

《ご意見⑤》

一般の方へはもちろん、乳幼児のおられるご家庭や障がいのある方への布絵本の貸出を検討していただけると嬉しく思います。

触れて楽しむ布絵本の楽しさを知ってもらいたいと考えています。

《事務局からの回答・対応等》

○布絵本については、手に取りやすく、気軽に利用しやすいような展示方法への変更を検討するとともに、今後は貸出をする方向で検討しています。

《ご意見⑥》

市民全般に図書館に目を向け、利用していただくためには、年齢に応じた催事を行うことが必要だと思います。

《事務局からの回答・対応等》

○当館でも、赤ちゃんから高齢者の幅広い各世代に向け、各種の講座やイベントを実施しております。

〈市民全体向け〉

- ・図書館まつり

〈大人向け〉

- ・教養講座（読書講座 医療講座 暮らしの講座）
- ・名画会

〈子ども向け〉

- ・対象年齢別おはなし会（赤ちゃん 小さい子 小学生他）
- ・セカンドブック事業 ブックスタート事業
- ・小学生対象 小学生1年生への図書館利用を促す冊子の配布
- ・その他（おはなし会スペシャル 中高生によるおはなし会 えいごでおはなし会 プログラミング教室 子ども映画会 など）

《ご意見⑦》

昨年度まで明記されていた「朗読点字室」は、現在は使用されていないのですか。

《事務局からの回答・対応等》

○「朗読点字室」は、室内への音漏れが発生する状況（室外の音が気になる）であり、対面朗読を希望する方が来られた場合、交流館施設（防音室）の使用をご案内する予定です。今後、大規模な改修を行う際には、館内実施が可能となるよう検討していきたいと考えています。

《ご意見⑧》

書架の本の収め方についてですが、きっちりし過ぎていると出し入れが難しく感じます。図書館でも、実際の出し入れの状況を確認してみるのも大事だと思います。

《事務局からの回答・対応等》

○書架については、返却本の配架の際、あまり詰め込んだ状態にならないよう気をつけていますが、改めて書架の様子を確認、利用しやすい配架を心掛けたいと考えています。

《ご意見⑨》

開館が困難なときでは、ホームページや広報紙、掲示物等で、読書の楽しさや意義、お薦め本の紹介など積極的に発信してもらいたいと思います。

《事務局からの回答・対応等》

○令和2年度の臨時休館時には、次のような広報活動を実施しました。
・「広報こが 図書館だより」

令和2年7月号から12月号の中で、年齢や学齢別で、子どもに向けたおすすめ本の特集記事を掲載しました。

- ・臨時休校が続いた子ども達に向け、子どもの学びや読書活動を支えるサイトのリンク集を、古賀市立図書館ホームページに設置しました。

今後また休館などが実施された場合も上記のような活動を行うとともに、様々な情報発信に努めます。